

第4回大口町立中保育園民営化移管先法人選定委員会 会議録

開催日時	平成24年11月20日（火）午後1時30分～午後2時45分
開催場所	健康文化センター 1階 多目的室
出席者名 (選定委員)	●委員長：藤原辰志 ●委員：舟橋宣成 ●委員：渡邊弘和 ●委員：岩根佐代子 ●委員：大森 滋 ●委員：中野幸子 ●委員：藤田金生 ●委員：安田美代子
欠席者 (選定委員)	●副委員長：中西由美
次 第	1 あいさつ (1) 委員長 (2) 健康福祉部長 2 議題 (1) 移管先法人募集要項等に関する質疑回答について (2) 移管先法人応募書類について (3) 2次選考【公開プレゼンテーション】について 3 その他

(進行：福祉こども課長)

発 言	内 容
福祉こども課長	こんにちは。それでは、第4回目の大口町立中保育園民営化移管先法人選定委員会を始めさせていただきます。 それでは、初めに藤原委員長よりご挨拶お願いしたいと思います。 よろしく申し上げます。

1 あいさつ

(1) 委員長

発言者	内 容
藤原委員長	改めまして、こんにちは。4法人から応募がありました。今月は国政の方も慌ただしくなっておりますが、私どもはきちんとした選定を粛々としていくことが使命ですので、本日もよろしく申し上げます。

発 言	内 容
福祉こども課長	ありがとうございました。次に大口町健康福祉部近藤部長がご挨拶申し上げます。

(2) 健康福祉部長

発言者	内 容
健康福祉部長	改めまして、こんにちは。皆さんのお陰をもちまして、募集要項が整い、11月2日には中保育園での現地視察に9法人が参加されました。その後、11月16日（金）には応募法人を締め切り、先ほどお話しがあったように4法人が応募されました。この4法人により、いよいよ24日（土）のプレゼンテーションに臨んでいただくということで、今日は、その進め方などをご協議いただきたいと思いますので、本日もどうぞよろしくお願ひいたします。

2 議題

(1) 移管先法人募集要項等に関する質疑回答について

発言者	内 容
福祉こども課長	それでは、協議事項に入る前に、副委員長は本日他用のため、ご欠席であります。書類につきましては、皆さま方と同様に16日に配布してございまして、それぞれの法人に対するコメントをご提出いただいておりますので、後ほど、ご紹介したいと思います。〈配布資料の確認〉 それでは、議事進行につきましては、委員長さんをお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひします。
藤原委員長	それでは「移管先法人募集要項等に関する質疑回答について」ということですが、事務局お願ひします。
福祉こども課長	先程、部長の話にもありましたが、11月2日に中保育園の現地視察及び説明会を開催しました。ここには9法人の方が出席をされました。それで、募集要項及び現地説明会を含めた質疑を11月5日に行いまして、6法人から56項目にわたる質疑を受けました。それを受けまして、町の方で協議をしまして、11月9日（金）に質疑に対する回答をしました。これは6法人のみではなく、現地視察に参加された全9法人に対し、回答をいたしました。その内容につきましては、56項目と多岐に渡りますので、先般、事前に配布をさせていただき、お目通しの上、本日、ご出席を賜りました。これは、質疑に対し、町の考えをお示ししたもので、その考えをご認識していただき、今後の審査・選考に携わっていただきたいというものです。そこで、お目通しの上かと思っておりますので、質疑回答書をご覧になられて、確認しておきたいこととすとか聞いておきたいことがあれば、ご説明申し上げますのでよろしくお願ひします。
藤原委員長	はい、今、ご説明いただきました質疑応答について、何かございますか。特になければ、了解をいただいたということにしたいと思います。

福祉こども課長	ありがとうございます。
藤原委員長	それでは、議題2の(2)「移管先法人応募書類について」に入りたいと思います。
福祉こども課長	まず応募書類につきましては、16日に4法人から提出していただきました。できるだけ早く委員の皆さんにご覧いただきたいと事前に配布し、本日、皆様にお持ちしていただいております。会議が始まる前にもお話しさせていただきましたが、これについての意見交換などは、会議後に時間を設けて行いたいと思います。これ以外に何か応募書類についてのご意見がございましたら、お願いいたします。
藤原委員長	皆さんいかがですか。〈質問なし〉
福祉こども課長	そうしましたら、確認させていただきます。応募法人数が8を超えた場合は、書類選考という形でいくということでしたが、結果として4法人でしたので、この場合は書類選考として意思確認だけはしていただければと思いますがいかがでしょうか。
藤原委員長	応募多数の場合は書類選考、8法人を下回った場合はプレゼンテーションへということでしたが、今回、4法人からの書類提出ということですから、4法人ともプレゼンテーションに参加されるということでは良かったでしょうか。 〈意見なし〉 では、今回は書類選考で了ということ、4法人ともプレゼンテーションに進んでいただくこととします。
福祉こども課長	ありがとうございました。詳細にわたる意見交換については後ほど、随時ご意見をいただければと思います。
藤原委員長	では、議題(3)2次選考【公開プレゼンテーション】について、に入りたいと思います。
福祉こども課長	資料2ページをご覧ください。先ほど議題2の方で、4法人とも2次選考に進むというご決定をいただきましたので、2次選考である公開プレゼンテーションについて説明させていただきます。1、参加法人数としたしましては、参加法人名は、社会福祉法人犬山福祉会、社会福祉法人宝光福祉会、学校法人荻須学園、学校法人小島学園、以上申し込み順で4法人でございます。プレゼンテーションの日時ですが、平成24年11月24日土曜日の午前10時から行いたいと考えております。ご了解いただいた後は、選定委員会の皆さんには午前9時30分までに集合していただきたいと思います。 3ページをご覧ください。事務局案としては、今、申し上げましたように、公開プレゼンテーションは、11月24日(土)午前10時に

スタートし、各法人1時間ずつとしたいと思います。午前10時から11時が犬山福祉会、午前11時から12時が宝光福祉会、1時間の休憩を挟みまして、午後1時から2時が荻須学園、午後2時から3時が小島学園という形で、申し込み順で時間を設定させていただきました。申込順での順番の設定につきましては、後ほど委員の皆様にご審議いただきまして、ご了解をいただきたいと思います。

2ページに戻りまして、会場は町立中保育園2階遊戯室で、内容といたしましては1時間を予定しており、そのうち法人自己PRが15分、委員の皆様との質疑応答が45分の計60分、つまり1時間となっております。自己PR、質疑応答のそれぞれ終了5分前にチャイムを1回、1分前にチャイムを2回鳴らし、制限時間になりましたらチャイムを連打するという方法で終了時間のお知らせをしたいと思いますと考えております。

採点方法ですが、まず「別紙『大口町立中保育園移管先法人選定採点表』により」、ということで、資料の4ページをご覧ください。こちらが、委員の皆様お1人お1人にお持ちいただく採点表になるかと思います。4法人ですから、これで4枚採点していただくこととなります。検討項目につきましては、先般第3回の選定委員会の折に、かなり長時間ご議論いただきました採点表の形にしてあるつもりです。基本的には提出書類の内容から把握できる項目として、法人に関する事が3項目、職員に関する事が5項目、保育に関する項目が14項目、最後に現地視察の項目を入れております。現地視察を除いたものについては、4段階評価で採点を行います。現地視察については、先般の委員会で結論が出なかったように思いますので、空欄とさせていただきます。この辺も含めてご議論していただきたいと思います。

1番下に、前回の委員会でご意見のありました、各委員さんの所見を記入する自由意見欄を設けさせていただきました。それから案の段階では、委員さんの名前を記入するところを敢えて設けてはおりませんが、事務局としては委員さんのご了解をいただければ、後で分かるように委員さんの記名欄を設けてはいかがかなと思います。採点表の公開はするつもりはございませんので、この辺も含めてご議論をいただきたいと思います。この採点表によって、休憩時間等を利用して採点していただきたいと思います。

2ページに戻っていただきまして、採点終了後、事務局で採点表を回収させていただきます、別紙「大口町立中保育園移管先法人選定採点集計表」に進みますので、5ページをご覧ください。A4横長の採点表となっておりますが、それぞれ1つの法人に対し、それぞれの評価項目について各委員さんが何点つけたかを一覧表にしたものです。ここで

は委員さん個人の特定ができないように、A～I委員と匿名にさせていただきます。採点方法につきましては、先般第3回委員会の際にも説明させていただき、これについてはご了解をいただけたと認識しております。それぞれの最高点と最低点を除いた合計点を、9人の委員のうち、最高点と最低点を記入した2名は除きますので、7で割った平均点を一番右の欄に掲げまして、一番右下にこの法人の合計点が出るという仕組みで採点集計表をまとめていきたいと考えております。

最後に6ページをご覧ください。分かりやすいように、各法人の合計点と順位を一覧にさせていただきます。総合計点は現地視察を加味した点になりますので、24日は合計点と順位まで出せるということになるかと思っております。以上が採点の中身ということになります。

2ページに戻っていただきまして、次に7「選考」についてです。午後3時を予定しております公開プレゼンテーション終了後、委員の皆さんには別室に移っていただき、先ほど説明致しました「大口町立中保育園移管先法人選定採点集計表」にて採点結果の確認を行っていただき、この日に2次選考通過法人の確定を行いたいと考えております。確定後、2次選考通過2法人に対する現地訪問の日程についても24日に決めてしまえないかなと考えております。

最後に8「選考結果通知」についてです。プレゼンテーションの日に選考結果を確定していただきますが、24日は土曜日ですので、平成24年11月26日、週が明けた月曜日付けで各応募法人宛てに郵送にて通知をしたいと思います。通知文につきましては別紙のとおりということで7ページをご覧ください。選定委員会の委員長名で各法人宛てにお送りする「大口町立中保育園民営化移管先法人選定に伴う2次選考の結果について（通知）」です。

<通知文朗読>

こちらは通過した法人に対する通知文です。裏面8ページには、残念ながら通過できなかった法人に対する通知文を掲載しております。本文3行目までは同じですが、4行目以降が異なります。4行目以降は、「2次選考（公開プレゼンテーション）の内容を慎重に協議した結果、残念ながら貴法人への移管は見送らせていただくこととしました。ご期待に添うことができず誠に申し訳ございません。貴法人の今後のご発展を心からお祈り申し上げます。」としております。以上のような文章を26日付けで郵送しようと思っております。2次選考通過法人に対しては、通知文を郵送してから数日後に現地視察に関する確認電話を入れようと考えております。

以上が24日の公開プレゼンテーション等について、事務局が考えて

	<p>いる内容でございます。</p> <p>また、資料9ページをご覧ください。これは委員の皆様に対して事後報告になってしまいます。先般16日に募集を締め切った際に応募法人が4法人であったことから、公開プレゼンテーションを1日で行えるのではないかとという事務局の判断のもと、町内保育園の在園児の保護者、保育園あるいは児童センターの掲示板に「大口町立中保育園の民営化に向けた応募法人による公開プレゼンテーションの開催について」というご案内を昨日、既に発送させていただきました。今回の民営化を進めるにあたって、町としてより迅速で正確な情報公開をという考えの中で進めてまいりましたので、24日のプレゼンテーションは既に募集要項の方ではしてありますが、より丁寧な対応をしようと思ひ、既に発送しました。本来ですと本日の委員会でご了解をいただいた後、お配りするのが本意ではございますが、そうすると明日になってしまいますので、委員長さんにはご相談させていただき、ご了解いただいて周知させていただきました。</p> <p>最後になりますが10ページをご覧ください。こちらは法人に対する公開プレゼンテーションのご案内です。先般11月2日の説明会にお越しいただいた法人に対して、プレゼンテーションは11月24日或いは12月2日に行うという日にちは決まっておりますが、時間・場所等については、まだ決まっていないとお伝えしてあります。その内容につきましては、本日20日の夕方にまず電話で連絡するというところで法人の方に伝えてあります。この会議終了後、委員の皆様にご了解が頂ければ、まず電話で法人にご連絡を差し上げますが、同時に本日付けで文書の方も郵送したいと考えております。こちら委員長名で作成しております。</p> <p><通知文朗読></p> <p>少し説明が長くなりましたが、24日の2次選考公開プレゼンテーション及び、次のステップへ向けての協議の内容について説明させていただきました。説明は以上です。</p>
藤原委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今の説明の中で、まず確認ですが、参加法人が4法人ということで、委員の皆様には午前9時半までに集合していただきたいという事ですがご了承いただけますでしょうか。<意見なし></p> <p>よろしく申し上げます。当日は午後3時までのヒアリングと、その後の審議がございますので、少しお時間を多めに取っていただきたいと思ひます。</p> <p>次ですが、この2次選考公開プレゼンテーションの結果通知についての文言等、7～9ページにそれぞれ文章での連絡等がございますが、</p>

	何かご意見はありますでしょうか。ご了承して頂けますでしょうか。では少々気になったのですが、例えば7ページ中段、「2次選考（公開プレゼンテーション）の内容…」とありますが、「2次選考の結果」だけで良いのではないかと思いますでしょうか。
委員	はい、そう思います。
委員	（公開プレゼンテーション）と付け加えたので、「の内容を慎重に協議した」という文言が加わったのだと思います。2次選考ということであれば、「の結果」で良いと思います。
福祉こども課長	「2次選考の結果、」でよろしいですか。
藤原委員長	（公開プレゼンテーション）を入れたので、「の内容…」を入れることになるのだと思います。同じように8ページの部分も「2次選考の結果」で良いと思います。
委員	もう一つ気になった事があります。8ページの「残念ながら、貴法人への移管は見送らせて」という言い方は大抵しないと思います。「見送らせて」ですんなりいくと思います。
藤原委員長	「見送らせて」ですね。これですっきりしましたね。
福祉こども課長	10ページの通知文は本日の郵便で送りたいと思っておりますので、先にご議論いただけるとありがたいです。
委員	本文の下から3行目に、「選考の結果は、11月26日付けにて郵送にて文書で通知します。」とありますが、「にて」が2回続くこととなります。「文書」はいらないので、「選考の結果は11月26日付けで郵送にて通知します。」とかで良いと思います。
福祉こども課長	「11月26日付けで郵送にて通知します。」ですね。
藤原委員長	「郵送で」か「郵送にて」どちらですか。
委員	「郵送にて」かと思います。
藤原委員長	文書については他に何かご意見ありますか。では、無いようですので、この案についてはご了承いただきました。 続きまして、4法人がどんな順番でプレゼンテーションを行うか、ということですが、案では3ページにありますように申し込み順で行うことになっております。こちらは何かご意見ありますか。ご了承いただけますでしょうか。 （意見なし） はい。こちら承認していただいたという話にさせていただきます。では次に、プレゼンテーションの時間についてですが、案ではプレゼンテーション15分、質疑応答45分を行った後、次の法人へ移るといった流れとなっておりますが、よろしかったでしょうか。おそらく4

	<p>5分間の質疑にはならないと思います。後ほど、質疑内容について、どの委員さんがどういう項目について質問をしていただくかは、「誰か質問するだろう」という考えでは質問が出ない可能性がございますのであらかじめ分担していきたいと思います。また、時間についてはチャイムでお知らせしていくということによろしいですね。</p> <p>(意見なし)</p> <p>では、採点方法についてですが、案の採点表では、22項目、現地視察を含めると23項目あり、点数をそれぞれ1～4点付けていく形になっており、各点数の記入の目安が記載されております。</p> <p>次に、5ページをご覧ください。こちらは各法人について、各委員さんに採点していただいたそれぞれの項目を集計した表になります。最高点と最低点とありますが、最高点が4点とか、最低点は1点ということによろしかったでしょうか。</p>
福祉こども課長	<p>色々なケースが考えられますが、例えば4点が5人、3点が4人の場合、最高点が4点、最低点が3点となりますので、4点と3点をそれぞれ1つ引き、残りで合計点を出すという形になります。</p>
藤原委員長	<p>どうでしょう。点数配分が1点から4点と非常に接近していますよね。そうすると、最高点と最低点を取ってしまうと、同じような点数推移になってしまい、変化が見えにくくなってしまうような気がします。</p>
委員	<p>5段階評価だと3点ばかりになったり、この場合の4段階評価だとまた3点ばかりになってしまいます。傾向としては同じようなものになり、差がつきにくい状況になってしまうことがあります。</p>
藤原委員長	<p>点数が1点から4点までの幅の中で最高点と最低点を取ってしまうと、そういうことになりがちですよ。数を5点にするか10点にすると良いのかなと、勝手に思ったりもしていましたが、委員さん、この件でご意見ございますか。</p>
委員	<p>こういった経験がなかなかないので、最高点と最低点を取る意味というのが私にはよく分かりません。単純に合計点を出すのはいけないのかなと思ってしまいます。</p>
委員	<p>おそらく考え方は2つあります。1つはメリハリをつけて点をつけないと差がつきにくいというものです。もう1つが、極端なものが1つ混じることで、全体を引き上げたり、引き下げたりしまう事のないように、最高点と最低点を異例のものとして外して採点するものです。どちらの考え方をとるか、ということだと思います。</p>
委員	<p>項目1つ1つで、最高点と最低点を引くんですよね。</p>
委員	<p>はい、この22項目の中でそれぞれ引いていくということだと思います。</p>
藤原委員長	<p>例えば、全部集計をしたところで、委員の先生たちの最高点と最低点</p>

	を抜いて、後の7人で出していくというのはどうでしょうか。そして総合計の最高点と最低点を引くのです。 委員さん、いかがですか。
委員	1～4で最高点と最低点を外すと差がなくなってしまうような気がします。2点が多いか、3点が多いかということになりますよね。非常に接近し、差がつきにくくなりますね。
藤原委員長	委員さん、数字に強そうですが、何か良いアイデアはございますか。
委員	以前、指定管理者の関係で採点を行った際は、最高点と最低点は引かず、5段階評価で採点しました。
藤原委員長	前回の委員会で、最高点と最低点を外すということを確認したかと思いますが…。
福祉こども課長	確かに、前回の委員会で最高点と最低点を外すということを説明し、その際、異論はなかったと思ったものですから…
委員	前回の説明の中で、私がイメージしていたのは、項目ごとではなく、各委員の合計点の最高点と最低点を引くものでした。今回の集計表を拝見して、項目ごとに最高点と最低点を引くのだと分かりました。
福祉こども課長	先ほど委員さんがおっしゃった方法ですね。
藤原委員長	先ほど、委員さんがおっしゃったように極端な数字が入ってしまうと、偏りが出てきてしまいます。いわゆる「思い入れ」のような恣意的なものを排除するために最高点と最低点を引くものだと思います。では、こういったものを排除するためにどういった方法が適切なのか、ということをご審議いただきたいのですが、委員さんいかがでしょうか。
委員	どちらもどっちというような気はしますが、1～4点というのは幅が狭いなと思いました。私の経験では、例えば、10点満点で1～2点だったら必ずコメントを書く、ということをしてきました。1～4点だと、同じようなものになってしまい、ほんの少しのことで差が出てきてしまうと思います。そうすると、一生懸命プレゼンテーションされる法人の方に申し訳ないような気がしてしまいます。変な言い方ですが、最高点と最低点は切らないということが良いと思います。
委員	1～4点までで極端なものは、1か4になりますね。
委員	例えば、最低点を切らないで極端なものをつけた場合は、理由を記入するというのは、項目がたくさんあるので大変ですかね。 それと全体で委員の最高点と最低点を引くという案もありましたが、そうすると最高点をつけた委員さんと最低点をつけた委員さんの意見が全く反映されなくなってしまいます。それも悲しいような気がします。前回、最高点と最低点を引くとしたのに申し訳ございませんが、私の意見としては、最高点と最低点を引かずにそのまま合計点を出し

	て人数の9で割るのが良いと思います。
委員	例えば、A～Iの委員さんがいて、4が最高点で1が最低点ですが、もし、4点と1点ばかりだとどうなるのでしょうか。
福祉こども課長	9人の内の4点と1点の人を1人ずつ引いて、残り7つを足して単純に7で割るといふ風に考えております。
委員	極端な話、2点か3点で評価するということですかね。
委員	偶数だから、奇数にして、5段階評価にすると選択の幅が出てもっとばらつきがでますよね。
委員	5段階だとたいてい「3」にしてしまいます。
藤原委員長	だからなるべく3をつけないようにしましょう。 最高点及び最低点についてはなぜこの点をつけたのか、審議の際に口頭で良いのでコメントしてもらうことにしましょう。
委員	5点はつける可能性がありますが1点はなかなか付けられませんよね。
藤原委員長	要は、基準を明確化していくのですから、接近した小数点以下で争うか、整数に近いところではっきりと勝負をつけるのかということです。委員さん、いかがでしょうか。
委員	私もちょっと評価しにくいなと思いました。良いところ、良くないところを1つ、何か中心のものを決めておいて、それより良いか、良くないか判断できるものがあつた方がいいのではないかと思います。それが4段階でも、2点と3点の間で決めれば良いのかもかもしれませんが…。
藤原委員長	選択肢を広げていくというご意見ですよね。では、そういうことでどうでしょうか。 先回の審議では、最高点と最低点を切っていくということでしたので、それをここで覆すことは好ましくないと思います。そうすると、最高点と最低点を切った上でも判断しやすい、整数に近い数値の出るような選択肢を広げていくということでもよろしいでしょうか。 4点か、5点なのか、10点なのか点数の幅についてご審議いただきたいと思います。後は感覚ですよね。10点が好きとか、5点が好きだとか、学校の先生は5点が好きかもしれませんし、中学校だったら10点が好きかもしれませんね。
委員	10点だと多すぎて迷ってしまいますね。
委員	曖昧につけてしまう部分が出るかもしれませんよね。
藤原委員長	私もよく大学の評価で「A+」とか曖昧につけてしまいます。 では、どうでしょう。こちらは委員長判断ということで、5点で収めてみてはいかかでしょう。良いですか。5点のうち、3点を「普通」ということしましょう。

	<p>では、これで確認していただいたということで、次に23番目の項目「現地視察」の採点方法についてです。これは、2法人に絞られるわけですが、評価として、先回は提出していただいた書類にプラスする点数、ということでしたよね。ですから、この数字が1点とか2点では意味がないので、現地視察の中でも項目を細分化して、点数を足していくのか、全体の様子で点数を出すのかということですが、この部分については、先回は「現地視察」だけで、細分化しても項目を決めかねるといこともありましたので、ご審議していただければいけないかと思います。本日、時間をかけて決めないといけないと思います。</p> <p>事務局の方では何か提案することはありますか。</p>
福祉こども課長	<p>この件につきましては、事務局の方では「これだ」という案がありませんので、空欄にさせていただいております。</p>
藤原委員長	<p>では、こうしませんか。24日の公開プレゼンテーションが終わってから審議をしますよね。その際に、事務局から「現地視察」の採点方法について提案をしていただけませんか。ここで、皆さんでワイワイ話しても埒（うち）があきませんので、少し提案をしていただいて24日（土）に確認して審議するというところでどうでしょうか。今、ここで皆さんの中でいくつかご意見がありましたら、承りたいと思いますが、おそらく相当苦しいと思います。「じゃあ、20点にしましょう」とか適当な数でもいけませんし。私の考えとしては、できれば、いくつかの項目を出していただいて、5段階で評価できる視察の基準みたいなものを出していただけますか。「雰囲気」、「職員の明るさ」とか「安全上の設備」とか「工夫された環境か」といった項目です。</p>
委員	<p>22項目にない項目を選んだ方が良いでしょうか。</p>
福祉こども課長	<p>ただ1つ、バランス的に思ったのですが、22項目が5点満点ということは合計110点に対して、現地視察のボリュームについては、委員の皆さんはどのようにお考えでしょうか。案を練るにもある程度目安が必要になります。</p>
藤原委員長	<p>でも、それは1つの意見ですから。書類選考及びプレゼンテーションで数値化しますよね。そうするとある程度2法人に絞られ、順位が出ますよね。その中で、現地視察で書類上では分らなかった部分によって、その順位が覆る場合もあるかもしれません。それは協議で決めるのか、数値化していくのかということですよ。それか、この23項目については、プレゼンまでの2次選考結果の確認とするなら、採点基準としては、2次選考を中心にしていくということですが、その中でいくつかの項目について疑義があれば再度調整ということはどうでしょうか。</p>

	私は、単純に23項目「現地視察」については点数化していった方が 良いかと思えます。では、その割合をどうするのかということですが、 いかがでしょうか。
委員	現地視察をした際の視点は、事前に決めておいて確認していくことは 必要だと思えますが、それを踏まえて私はプレゼンテーションまでの 数値と現地視察をした時の結果を併せて、皆さんで協議して決定して いく事が良いのかなというような気がします。
藤原委員長	あえて、現地視察についての採点はせずに、協議するというのです か。
委員	確認事項だけは決めておいて、それを確認した上で、その結果を皆さ んで協議しながらどちらにするか決めるのが良いのかなと思ってお ります。
藤原委員長	現地視察の場合、2法人ですので遠方の法人を視察した場合は1日で できませんからはっきりしませんが、どちらにしる2法人目の視察が 終わった時には結論を出していくことになりますよね。
福祉こども 課長	ちょうど話が出ましたので、1ページをご覧ください。要項では現地 視察に2日取ってあります。具体的に4つの法人は決まりましたが、 遠方として豊橋市が1か所で、その他3法人は近隣になっております。 色々なケースが考えられますが、2法人の中で豊橋市が残れば、1日 で消化するのは厳しいかなと思えます。
藤原委員長	委員さんがおっしゃったように、現地視察については視察視点を明ら かにした上で、視察後に協議をしていきます。2法人の視察がござい ますので、同日、もしくは2日目の視察後に集まっていただいて、最 終選考をするという流れにしていきたいと思えますがよろしいでしょ うか。では、23項目「現地視察」については、点数化せずに「協議」 によって決めるということによろしいですか。視察視点についてだけ はご検討をお願いします。よろしいでしょうか。
福祉こども 課長	そうしますと、協議ということで、数値化が出てこないとなりますと、 最後に決めるときは、採決ということになりますか。
藤原委員長	それこそ協議ですから、書面上では評価できたけども、実際には違っ ていた場合など、各項目について見直していただく等、協議していく ことになります。協議ですから、最終的には採決かもしれませんが、 決定していくための手段を考えていくということです。
福祉こども 課長	それでは、採点表、集計表の23項目はカットし、合計までにすると いうことですね。
藤原委員長	採点表と集計表のご審議は、これでよろしかったでしょうか。それで は、今日事務局に出していただきました事項の審議については、以上

	ということで良いでしょうか。
福祉こども課長	少しよろしいでしょうか。今、採点表についてご議論いただきまして、結論が出ました。後々これを公表するということを考えた場合に、現在、事務局として考えておりますのは、4ページの採点表のひな型、様式を「各委員さんがこの採点表に基づいて採点した」ということをお伝えできるよう載せたいと思います。何故かといいますと、5ページの法人ごとの集計表を、委員さんは特定できないように、各法人が何点だったか分かるように掲載しようと思っているからです。そうしますと、集計表だけでは各項目の内容が確認できませんので、項目内容が分かるよう、採点表のひな型を掲載した上で、集計表を掲載したいと考えております。ご審議をお願いします。
藤原委員長	集計をした後に結果を公開していくということですが、これは他市町村でも集計結果を公開してきていますね。
委員	法人の名前は分からないようにしないといけないですよ。
福祉こども課長	そうですね。法人の名前を入れると、順位が分かってしまいますので、法人名も消さないといけませんね。事務局として考えておりますのは、4法人の名前は公表しましたが、当確した法人以外は、どの過程で落選したかなどは分からないようにした方が良いのではないかと考えております。そうすると、今、言い間違えましたが、この採点集計表も法人名は明記せずに、4法人のプレゼンテーションが行われ、それぞれ法人ごとの点数と委員さんの点数のばらつきがこうだったという風にしないとダメですね。
藤原委員長	公表方法については、プレゼンテーションを行い、集計結果を見てからでないと決められないと思います。「どうしてうちはどうなったのか」と疑義が出てくる可能性もありますし、もう少し慎重に審議した方が良いと思います。
委員	ここでの集計表は、大口町の保育園を民間に移管するにあたっての評価なのですが、これが、法人全体の評価と捉えられてしまうと、そんな力は持っていないので…ということはあるかもしれません。
藤原委員長	研究者などは、国から研究費をもらう時に、エントリーしてそこで一人ひとりにA評価とかB評価とかいった評価を受けますが、E評価の場合は、「ここをこうする方が良い」とかコメントがきちんとつきます。本当は、点数を全部出していく方がいいのか、出さずにいくのか、結果については任せようということ、ご理解してもらえないですかね。
委員	募集要項には、この辺の事は何も書いていないですよ。
福祉こども課長	はい。「応募した法人名は公表します」とだけは書いてあります。

健康福祉部長	どちらにせよ、点数自体は情報公開で請求されれば出していくことで すので、最初から出しても良いのかと事務局サイドは考えておりました。 ただ法人名だけは伏せた方が良いと思います。
藤原委員長	では、公表する方向で審議を進め、不都合な点が生じそうでしたら、 再度、審議しましょう。法人名を伏せて、集計表を公開するという前提に することを確認しました。
委員	他の、先行している市町がどんな取扱いをしたか調べてください。
福祉こども課長	はい、分かりました。
藤原委員長	2次選考に関して事務局に用意していただいた事項の審議については 終了します。先ほども申し上げましたが、24日のプレゼンテーションの折には、 15分間プレゼンテーションしてもらった後に、質疑応答になります。その 質疑応答の仕方、役割分担について確認したいと思います。委員さんの中には 確認しなくても大丈夫とお考えの方もいらっしゃるかと思いますが、「私はこの 分野で質問する。」とか、「私はこういうことを質問する。」といったことを 話し合いたいと思います。会議を閉じた後に話し合いをしましょうか。
福祉こども課長	はい、よろしいです。よろしくお願いいたします。
藤原委員長	分かりました。では、その他で何か事務局からはございますか。
福祉こども課長	確認ですが、今回の会議は24日（土）、2次選考の公開プレゼン テーションです。10時開始ですので、委員の皆様には30分前、9時 30分までには中保育園会議室に、定刻お集りいただきますようお願い いたします。以上です。
藤原委員長	今の事務局のご提案にご了承いただいたということによろしいでしょ うか。 (意見なし) その点に関しまして、24日（土）は保育はやっていますか。
福祉こども課長	はい、やっています。
藤原委員長	そうなりますと、子どもたちへの配慮はどのようになっていますか。 例えば、公開ですので一般の方もご参集されるかもしれません。そう した際の、保育室への立ち入り等はどのようになりますか。
委員	基本的に、土曜日保育は1階、東側にあります3歳未満児室と普通の 幼児室の1部屋ずつを使っており、2階は使っておりません。今回は、 プレゼンテーションに2階遊戯室、もう一部屋を控室に使用します。当 日だけは、遊戯室に上がってこないように通路止めを置いて、そちら からは出ないようにしたいと思います。

福祉こども課長	土曜日担当の保育士もおりますので、子どもに対しては、今、申し上げましたように、2階には近寄らないようにという配慮をお願いします。また同時に、当日、園長も公開プレゼンテーションの応援として4名程来てもらえますので、法人のご案内あるいは傍聴者の誘導にも対応していこうと考えております。
藤原委員長	防犯への対応はどのようになっていますか。一般の方もいらっしゃる中で、どなたが来るかわからない中で、よからぬ考えを持った方が入ってきた時の対応はどうされますか。
福祉こども課長	これまで説明会等を開催した際にも、そういったことの配慮はしていませんでした。園長を4人、入口のところには配置させますし、当日、土曜日保育担当の保育士が各園1名ずつで合計4名来ております。そのような形でしか対応できないかと思えます。
委員	今回は健康文化センターや福祉会館の部屋が取れなかったのですよね。私は、役場でやってはどうかと話をしたのですが、役場でやると、なかなか傍聴される方が来づらだろうということで、また「何故、役場でやったのか」という批判の対象にもなりかねないので、一般の方が来やすい保育園でやりたいという事務局の意見がありました。
福祉こども課長	部屋の入口に傍聴者名簿を置き、住所・氏名を記入していただいて、入室していただくと考えております。
藤原委員長	当初とは異なり、保育園でということになり、通常保育や土曜日保育でお子さんを預けていらっしゃる方が、どうなるのかという話が出るかもしれませんし、万が一のことがあってはいけませんし、そのリスクを勘案していかないと、何かあった時に委員会として説明ができませんので、このことを委員会として指摘をしておきます。
福祉こども課長	注意喚起は徹底していきたいと思えます。
委員	傍聴者は、あくまで傍聴のみをされますが、割り込んで質問等をしてきたらどうしますか。
福祉こども課長	部屋の入口前に「傍聴者の皆様へ」といった形で貼り紙を貼ろうと思っております。どこまで制御できるかは分かりませんが、「私語禁止」とか「飲食禁止」「撮影・録音禁止」「会議の妨げになるようなことは…」といったように、入口に貼り紙をする中でモラルを守っていただきたいと考えております。「係員の指示に従わない場合は退場」といったことも含めたいと思えます。
藤原委員長	当日、プレゼンテーションの司会進行はどなたがやりますか。
福祉こども課長	私が行う予定ですが、4法人が時差で来ますので、最初は、何か改めて挨拶といったものはした方が良いですか。「これから始めます。一番目の法人は〇〇です。」と淡々と始めてしまえば良いでしょうか。

藤原委員長	選考会ですから、当たり前だと思います。傍聴者への挨拶やメッセージは特になく、始めてもらえば良いと思います。
福祉こども課長	「これより2次選考を始めます。一番目の〇〇法人から始めさせていただきます。」と話し、多少、事務連絡として「15分間の自己PRをお願いします。」と振ろうとは思いますが。
藤原委員長	9時55分くらいにそういった話をさせていただいて、10時になったらすぐに始めてもらえば良いかと思います。
福祉こども課長	法人も30分前に来ていますので、5分前には席についていただいて事務連絡を少しして、10時から始めるということにします。
藤原委員長	例えば、1番目の法人が終わって退席し、2番目の法人が入室する際の誘導はどなたがやりますか。
福祉こども課長	園長が行います。遊戯室から出て、二階の保育室のところまで行くものですので園長にお願いしたいと思います。
藤原委員長	では、第4回の選定委員会を終わらせていただきたいと思います。お疲れ様でした。